

# 令和2年度

## 武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会



## 平和の日メッセージ

昭和19年(1944年)11月24日、武蔵野が初めて空襲を受けてから、76年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は9回を数え、工場関係者200名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定しました。

令和2年度からの10年間を計画期間とする武蔵野市第六期長期計画では、これまでの「文化・市民生活」の分野名に新たに「平和」を加えるとともに、基本施策として「多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築」を掲げています。引き続き、一人ひとりの命と人権が守られる真に平和な状態を保ち、多様性を認め合い尊重し合う社会を構築してまいります。

戦後75年を迎えた今年、私たちは新型コロナウイルス感染症という世界的な困難に直面しています。この困難を乗り越えるためにも、改めて平和な社会に築かれた国際協力の重要性を認識し、戦争も核もない世界の実現に向けて、武蔵野市は、国内外の自治体と連携してまいります。

戦争を体験された方から直接体験談を聞く機会も大変貴重になっています。私たちには、この「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、平和の尊さ、戦争の悲惨さを伝えていく活動を市民の皆さまとともに取り組んでまいります。

2020年11月24日

武蔵野市長 松下 玲子

## ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を記念して、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言平和事業実行委員会が設置され、それ以降、戦争パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

令和 2 年度は戦後 75 年の節目の年でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、憲法月間記念行事や夏季平和事業の規模を縮小し、写真パネル展や市民から寄せられた戦争関連資料の展示などを開催いたしました。また、節目の年に実施している中高生を長崎市に派遣する事業である青少年平和交流派遣事業の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となりました。この事業の重要な要素である青少年ピースフォーラムについては、秋に代替事業がオンラインにて実施され、過去に派遣事業に参加した高校生、大学生が参加し、全国各地の同世代の参加者と交流を行いました。

平和の日イベントでは、吉田裕氏による講演『戦後 75 年・戦争体験をどう継承するか』を行うなど、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の実相と平和の大切さを継承していく活動を行いました。今後も市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるため、戦争体験の伝承を継続し、平和への意識を高めていく事業を引き続き行っていきます。

本書は、令和 2 年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

## 目 次

### I 令和2年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

- 1 憲法月間記念行事の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・ 1
- 3 平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・ 2
- 4 研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 5 実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 6 オンライン青少年ピースフォーラム（主催（公財）長崎平和推進協会）への参加・・ 4
- 7 平和啓発ビデオ「武蔵野市の空襲とその記憶 ～中島飛行機武蔵製作所周辺～」  
の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 8 平和・憲法手帳（第2版）の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

### II 令和2年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

- 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

令和2年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	大 上 茂 雄	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	後 藤 真 澄	武蔵野市立小中学校 PTA 連絡協議会
	元 田 利 夫	武蔵野市老人クラブ連合会
	佐 藤 礼 菜	大学生
	中 田 くるみ	大学生
平和関連団体	牛 田 守 彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中 里 崇 亮	世界連邦運動協会武蔵野支部
	柴 田 フミノ	武蔵野けやき会（被爆者の会）
	田 村 恭 子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	北 山 征 一	市内在住
	小 餅 友 子	市内在住
	島 津 好 江	市内在住
	寺 尾 孝 雄	市内在住
	中 島 敏	市内在住

# I 令和2年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

## 1 憲法月間記念行事 作品募集

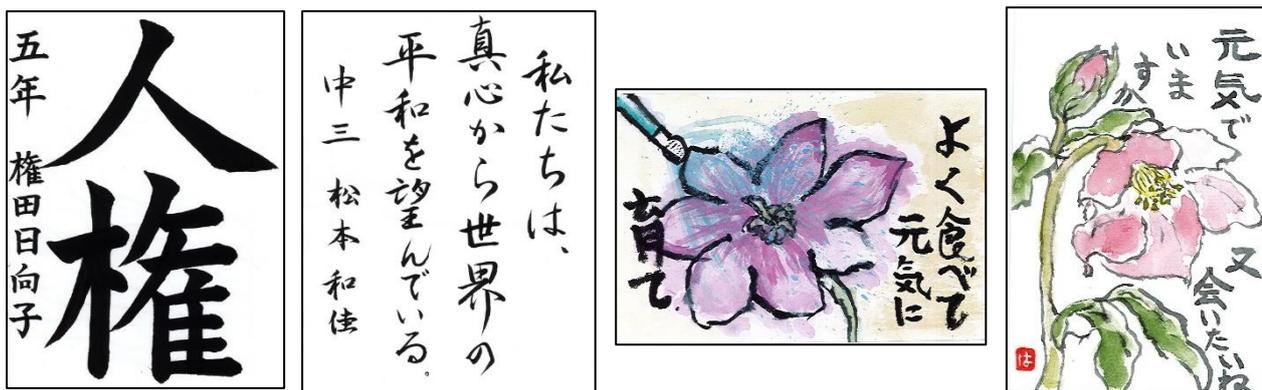
内容：書道・絵手紙

応募状況：書道 141点 うち優秀賞2点、入選16点

絵手紙 22点 うち優秀賞2点、入選3点、実行委員会賞1点

表彰：11月23日（月・祝）の平和の日イベント講演会において、優秀賞4名を表彰

展示：優秀賞作品を11月2日（月）～12日（木）まで市役所正面玄関ショーウィンドーで展示



（書道・絵手紙 優秀賞作品 4点）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会および横断幕の掲出は中止した。

## 2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催（協力：武蔵野けやき会、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

日時：8月4日（火）～12日（水） 武蔵野市役所 1階 ロビー

(2) 横断幕の掲出

内容：「戦争も核もない世界を武蔵野から

世界連邦に関する宣言 非核都市宣言 宣言自治体 武蔵野市」

日時：8月3日（月）～31日（月） 市役所、市内3駅前

(3) その他（協力 （公財）武蔵野文化事業団）

吉祥寺ファミリーシアターアウトリーチプログラムとして、令和元年度夏季平和事業子ども向けイベントの動画配信を令和2年度事業とした。

内容：令和元年度夏季平和事業子ども向けイベント

おしばい『ぞうれっしやがやってきた』

場所：吉祥寺シアターチャンネル（YouTube）

### 3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催

内容：武蔵野の空襲と中島飛行機（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

日時：11月13日（金）～30日（月） 武蔵野市役所 1階 ロビー

(2) 横断幕の掲出

内容：「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」

日時：11月2日（月）～30日（月） 市役所、市内3駅前

(3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内容：鉄カブト、中島飛行機武蔵製作所のお盆、遺族に贈られた証書等

日時：11月13日（金）～30日（月） 市役所1階 正面玄関ショーウィンドー

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

内容：中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

場所：桜堤コミセン、吉祥寺東コミセン、西部コミセン

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の展示

（協力 （公財）武蔵野生涯学習振興事業団）

日時：11月16日（月）～30日（月）

場所：中央図書館、武蔵野プレイス、吉祥寺図書館

(6) 平和の日イベント 講演会

日時：11月23日（月・祝）午後1時30分～3時30分

場所：武蔵野公会堂

内容：憲法月間記念作品優秀賞 表彰式

講演「戦後75年・戦争体験をどう継承するか」（吉田裕氏）

参加者：101名

その他：講演の様子を録画した動画を12月1日（火）～1月14日（木）に武蔵野市  
動画チャンネル（YouTube）で公開した。



4 研修会の開催

実施日 令和3年2月16日（火）午後6時～7時30分

場所 市役所811会議室

解説 牛田守彦委員

戦争体験談 中里崇亮委員長、島津好江委員

参加者 実行委員11名、職員等39名



## 5 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	令和2年5月7日(木)	実行委員長の選出について（書面開催）
第2回	6月16日(火)	実行委員会の運営、夏季平和事業について
第3回	7月30日(木)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第4回	9月1日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	10月13日(火)	平和の日イベント、研修会について
第6回	12月17日(木)	研修会、憲法月間記念行事について
第7回	令和3年1月21日(木)	研修会、憲法月間記念行事について （書面開催）
第8回	3月19日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について

## 6 オンライン青少年ピースフォーラム（主催（公財）長崎平和推進協会）への参加

青少年平和交流派遣事業は、8月8日（土）～10日（月）に長崎市へ市内の中学生および高校生を派遣し、11月23日（月・祝）の平和の日イベント内で報告会を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

代替事業として、11月28日（土）のオンライン青少年ピースフォーラム（主催（公財）長崎平和推進協会）に市内の高校生および大学生3名が参加した。

### 参加者感想文

#### 高橋 佑香さん（大学生）

この度オンラインピースフォーラムに参加して、原爆を過去の歴史の出来事としてではなく、事実として深く受け止め、平和について再度熟考する貴重な機会を頂きました。第一部の池田さんによる講話は、情景が頭に思い浮かぶほど具体的で、当時小学1年生だったにも関わらず記憶に鮮明に残り続けていることから、いかにその経験が池田さんの中に深く刻まれているかがわかりました。そして、第二部の方でも平和について語り合いましたが、今の日本や私の置かれている環境がどれほど恵まれているかを改めて実感致しました。

過去の惨禍からやっと手に入れた平和を守るために、辛い記憶を思い起こし次世代へ語り継いで下さっているその思いを、ピースフォーラムに参加しているメンバーと共に、繋げていかなければならないと確信しました。

このたび関わった全ての方々に御礼申し上げます。貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

**田中 美紗希さん（高校生）**

中学の時に長崎を訪れる機会をいただき、はじめて戦争、そして原爆について、身近に感じることができました。

戦争については、祖父母や学校でも聞く機会はありませんでしたが、体験者のお話を直接聞くことはなかなかできないので、とてもよい勉強になりました。

グループ意見交換の場で、自分のグループには、長崎や沖縄の戦争体験者が、身近にいる方々ばかりでした。

武蔵野市に住んでいる自分にとっても、過去に空襲があったことを3年前に学びましたが、長崎や沖縄に比べると、戦争が終わり復興する道筋は平和の中で行われたと思うのです。

日本人の戦後の感情は地域によってことなるような気がして、申し訳ないような気持ちになりました。

武蔵野市の戦争の記録をなぞることしかできていない自分には戦争の記憶が生々しいと感じました。

自分にはもっと学ぶことがある、と感じる時間でした。

体験者のお話で、戦争で人の心は変わってしまう、どんなに優しい人も生きるために必死になれば、他者を踏みにじってしまう。と。

そんな体験は絶対にしたくありません。

平和のためにもっとできることはないか、それが、私のこれからの課題です。

**松原 妃那さん（高校生）**

3年前、長崎で市の代表としてピースフォーラムに参加しました。

今回は、オンラインという3年前とは違う形ではあったため、最初は戸惑う部分がありました。

しかし、長崎のピースボランティアさんがフラットにかつアットホームな雰囲気で行っていただいたおかげで、変に気を張ることなく参加することができました。

いざ「原爆」のおはなしになるとその表情は一転、重々しい表情と声で当時の惨劇を説明して下さいました。

数字でも映像でも言葉においても、信じられがたいことがこの日本にたった75年前に起こったのだと再認識しました。

また、グループセッションでは自分が前回の参加からの3年間で得た知識や経験を用いて話し合いに臨むことができ、より学びを深められました。

世界が混乱に陥っている今こそ、過去の歴史から学ぶことが大切だなと実感しました。

## 7 平和啓発ビデオ「武蔵野市の空襲とその記憶 ～中島飛行機武蔵製作所周辺～」の作成

### (1) 目的

終戦から75年を迎え、戦争体験者の高齢化により当時の貴重な記憶や資料が日々失われているなか、戦争体験者の肉声や映像記録を残すことで、若い世代に対して戦争の悲惨さや平和の大切さを継承していく。



### (2) 内容

武蔵野市内における空襲の体験談

### (3) 取材協力者

#### ①中里崇亮氏（八幡町在住）

令和2年10月29日 延命寺 で取材

#### ②島津好江氏（関前在住）

令和2年11月12日 都立武蔵野中央公園 で取材

#### ③小峰光弘氏（吉祥寺東町在住）

令和2年11月12日 むさしのエコreゾート内 で取材

### (4) 閲覧方法等

武蔵野市公式ホームページ「動画チャンネル」で公開。

## 8 平和・憲法手帳（第2版）の作成

### (1) 目的

戦後75年という節目の年を迎え、本市の平和事業の取り組みや武蔵野の空襲に関する紹介、また、平和をうたった日本国憲法や本市の平和に関する宣言等を掲載した平和・憲法手帳を改訂し、平和・憲法手帳（第2版）を作成する。

### (2) 内容

武蔵野市の概要、市の平和施策、市の主な平和事業の取り組み、非核都市宣言平和事業と憲法月間記念行事の変遷、武蔵野の空襲と中島飛行機武蔵製作所、日本国憲法、世界人権宣言、市の平和に関する宣言

### (3) 配布場所

市役所市民活動推進課、各市政センター、各図書館、武蔵野ふるさと歴史館で配布

## II 令和2年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

### 世界連邦運動協会武蔵野支部 中里 崇亮

戦争体験者は高齢期を迎え、私の寺に戦争遺品や遺物を寄贈し、戦争の悲惨さや恐ろしさを話してくれた人たちも次々とお亡くなりになっています。

昨年12月平和観音菩薩像の前に、「武蔵野市戦没者慰霊碑—平和への想いをつなぐ」が新しく建てられました。高齢化に伴い形あるものを残したいという遺族会の希望が実現しました。

平和の日条例10周年を迎えるので、平和事業実行委員会としてもなにか形あるものを残したいと思っています。以前から地域では武蔵野中央平和公園にしたいという希望があります。「平和への想いをつなぐ」植樹祭や出来れば記念碑として防災放送を兼ねた時計台を建てたらいいと思います。

二度と空襲の悲劇を繰り返さないために、武蔵野から世界の平和に貢献できますよう頑張ります。

### 公募委員 小餅 友子

戦争体験者のお話を聴き、その悲惨さを実感し、平和憲法を勉強。それを子どもたちに知ってもらい継承したいと考えていました。ところが、思ってもいなかった「新型コロナウイルス」という新しい攻撃者の猛威が、戦争と同じように、親しい人との理不尽な別れを世界中で強いています。

未来に続く子供たちに何を残すのか、戦争・非核（原発）、新たに新型コロナウイルスも加え、学ぶことが増えました。目の前の便利さ・経済のために失ってしまった環境や心を少し巻き戻す必要がある気がします。

### 武蔵野市コミュニティ研究連絡会 大上 茂雄

委員をさせてもらって2年が経ちました。今年はコロナでイベントが少なかったとはいえ、それでも学ぶことが多く勉強になりました。委員会では事務局のデータから特定の年代に関心が偏っていないことが分かりました。年齢が上がるにつれ関心が強くなるようなので、若い人へアピールすることで全体として関心が上がるかなと思いました。1年の最後の最後になって、委員研修会の講師をされた二人の委員から絵本構想を聞いてこの委員会のアイデアは尽きないなと感じました。できるだけついていきたいと思います。

### 武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会 後藤 真澄

1年間ありがとうございました。

全てに出席する事はできませんでしたが参加する度に色々と戦争の話や当時の武蔵野の歴史に触れる事ができ大変勉強になる委員会でした。

以前から様々な所で戦争の悲惨な話を聞く度に平和のありがたさを思っていました、どこか昔の遠い体験の様で自分とは違う世界に感じていました。

ここの委員会で聞く武蔵野市の戦争体験は自分が知っている場所、いつも通る道、子どもと遊んだ公園など身近な所であった話なので、親近感を覚えると共に恐怖さえ感じました。

平和の尊さをしみじみと噛み締め今の生活が送れる世の中に感謝したいと思えるとてもいい活動をさせていただきました。ありがとうございます。

### 武蔵野市老人クラブ連合会 元田 利夫

武蔵野市に住んでまだ20数年、武蔵野市の空襲の知識はほとんどありませんでしたが、たまたま知人の紹介で平成22年11月開催の市民平和フォーラム「平和への祈り、武蔵野から」に参加、当時の邑上市長と会話したこと、田上長崎市長のスピーチを聞いたこと、被爆ピアノの演奏を聞いたことなどを思い出しました。旧中島飛行機製作所が米軍による空襲を何度か受けたことまでは知っていましたが、どの程度の被害があったのか、どの辺まで被害があったのかなどは全く知りませんでした。関前の高射砲陣地前はよく自転車などで通りますので、この上空を米軍のB-29が飛来していたのかと想像をめぐらせていました。この1年実行委員会に参加させていただき、武蔵野市の空襲の全容をかなり学ぶことができました。武蔵野市老人クラブ連合会の役員も武蔵野市の空襲の知識はあまり多くないと思われます。そこで空襲がどこであり、被害はどの程度であったのかなどを学ぶ講演会を企画、実施したいと考えています。

## 大学生 中田 くるみ

昨年度に引き続き今年度も大学生枠で参加いたしました。

このような社会情勢下でなかなか例年通りに活動できない1年間でしたが、私は戦争を実際に体験した方のお話を伺い、質問させていただく機会を得ました。この出来事を経て改めて戦争の悲惨さを知り、平和について深く考えるようになりました。教えていただいたことや私が感じたことを、同じ世代やもっと若い世代に伝えていけたらと思います。

2年間ありがとうございました。

## 武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

2020～21年は、世界が新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの命が失われただけでなく、社会活動の停止を強いられるたいへん厳しい状況となりました。そんな中でも、規模を縮小しながら、平和事業を続けてきてことは良かったと思います。とくに2月16日には松下市長をはじめとする市職員にもご参加いただき、戦争体験を聴く会を開催できたことも意義が大きいでしょう。市民活動推進課の職員の皆様の尽力に感謝いたします。

2021年は、武蔵野市平和の日条例制定10周年に当たります。原点に戻って、武蔵野から発信する意味を考え合いたいです。また、本年1月、核兵器禁止条約が発効しました。唯一の戦争被爆国はその実現のために踏み出すべきでしょう。実行委員会の意義は大きいと思います。

## 武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

また今年度も1年、お世話になりました。委員会の回数を追うごとに、皆様と言葉を交わす機会が増え、各委員さんが抱く平和への思いを吸収し、良い関係性の積み重ねができてきたと感じています。コロナの影響でイベント数は限られましたが、催しものの共同作業や会議を通して色々な世代の方と交流し、地域でチャレンジしてみたいミニイベントのアイデアや共通の関心事を共有できるなど、実行委員の活動の魅力をさらに実感した1年でした。

また機会を頂けましたら、より多くの委員さんとのコミュニケーションの機会を頂きつつ、実行委員の主体的な取り組みを増やしていければと思います。

早くコロナ感染症が収束し、自由な委員会活動が戻ることを願っています。

### 公募委員 北山 征一

今回も 2020 年度の平和事業実行委員会の公募委員になれて、うれしく、かつ少しでもお役に立てればと思い、この一年を過ごしましたが、なんと言っても、このコロナ禍問題下という「災難」には勝てず、多くの事業が出来なくて、形態の変わった事業をするこの一年となりました。それでも市の市民活動推進課の担当者の皆さんの努力で、基本的な活動が出来たのは良かったと思います。これを乗り越えて、やるしかないかと思えます。そんなわけで、私にとって不完全燃焼ではないかと、特に 90 歳前後の委員からの継承の言葉を聞くことが実行委員会の後とかで聞く機会が皆無ではなかったかと。2021 年度も公募委員になれたので、頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

### 公募委員 島津 好江

コロナに始まりコロナの勢いが強烈で一年が過ぎて、まだまだこのままつづきそうです。マスクをして、数席同士離れて座して、会議の話題もよく聞こえません。高齢のこともあってか。非核平和事業もコロナの勢いで人集めが出来ない始末。先の見えない先をさがしながら目的をしっかりとつかみ、一步また一步と進みたいと思います。子どもたちの未来の為に平和を祈りつつ……です。

### 公募委員 寺尾 孝雄

委員会として、委員としての戦争体験を語っていただき、1 連の記録としてまとめ文書として残す価値はあると思います（委員長、島津さん、柴田さんなど）。

断片としては聞いていますが、切れ切れで全容が理解できていません。

委員会とは別枠でもかまいませんが、数回に分けて聞き取ることも考慮しても良いかと思ひます。

後、委員会の時間ですが、マスク等をしていることもあり 8 時を過ぎると辛くなります。もっと時間を短縮することや途中で小休止をとることを検討しても良いかと思ひます。

## **武蔵野市非核都市宣言**

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和57年3月29日  
武蔵野市議会

## **世界連邦に関する宣言**

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。

人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うとともに、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和35年6月28日  
武蔵野市議会



令和2年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和3年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)